

科目名	相談援助 A					単位	1.0
担当教員	藤林 清仁						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	1319

●授業のテーマ

保育における相談援助を考える

●到達目標

相談援助の理論・方法や技術・具体的展開について理解し、保育におけるソーシャルワークの応用と事例分析を通して対象への理解を深める。

●学習内容(授業概要)

相談援助において、次の四つのことを学びます。第一に、相談援助の概要について理解する。第二に、相談援助の方法と技術について理解する。第三に、相談援助の具体的展開について理解する。第四に、保育におけるソーシャルワークの応用と事例分析を通して対象への理解を深める。具体的には、相談援助の概要、相談援助の方法と技術、相談援助の具体的展開、事例分析について学びます。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 保育と相談援助
2. 相談援助とは何か
3. 相談援助の過程と連携
4. 相談援助を行う前に
5. 事例検討の意義と方法
6. 児童虐待への対応事例
7. 児童養護施設の事例
8. 障がい受容の事例

●準備学習・事後学習の内容

新聞等で関連する内容を見つけたら読んでおくこと。講義終了後、テキストの関連する内容を読んでおくこと。

●成績評価方法・基準

試験 80%、レポート 20%。

●テキスト(必携)

《No.1.》書籍名：演習・保育と相談援助、著者名：佐藤伸隆 中西遍彦 前田敏雄、出版社：みらい、販売先：Do

●参考文献／その他

授業時に指示します。

●履修上の注意
特になし。